

温暖化対策 CDM/JI 事業調査 シンポジウム 2008

1997年の国連気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)で採択された京都議定書には、先進国の温室効果ガス削減目標を達成するための柔軟性措置として、「クリーン開発メカニズム(CDM)」や「共同実施(JI)」などの制度(京都メカニズム)が規定されました。

本年、京都議定書第一約束期間がスタートし、クレジットの確保につながる CDM/JI プロジェクトの実施がますます重要となっています。また、近年、温室効果ガス削減(気候変動の緩和)とホスト国における公害対策の双方に有効な「コベネフィット」を実現する事業の形成が国際的に望まれています。

環境省では、1999年度から CDM/JI 事業調査を実施し、我が国の目標達成に寄与するプロジェクトを発掘・支援するとともに、CDM/JI に関する知見を蓄積してきました。

このシンポジウムでは、CDM/JI に取り組む我が国の事業者の理解をより一層深めるため、CDM/JI に係る最新的话题を提供するとともに、2007年度に実施された CDM/JI 事業調査について報告します。

参加費無料 (事前にお申込ください)

《東京会場》

日時 2008年10月1日(水)
10:30~16:00 (10:00 受付開始)
会場 科学技術館 サイエンスホール
東京都千代田区北の丸公園2-1
定員 400名

《大阪会場》

日時 2008年10月3日(金)
11:00~16:30 (10:30 受付開始)
会場 大阪歴史博物館 4階講堂
大阪市中央区大手前4-1-32
定員 250名

東京会場アクセス



- 「竹橋駅」(東京メトロ東西線)1b 番出口より徒歩7分。
- 「九段下駅」(東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線)2 番出口より徒歩7分

大阪会場アクセス



- 「谷町四丁目駅」(大阪市営地下鉄谷町線・中央線)9番出口すぐ。

ご来場には公共交通機関をご利用ください



主催 : 環境省、(財)地球環境センター(GEC)
後援(大阪会場)(予定): 大阪府、大阪市



東京会場 プログラム

10月1日(水) 10:30~16:00 (10:00 受付開始)

CDM/JI の現状と課題

・ 環境省 市場メカニズム室長補佐 河村玲央

コベネフィット実現による CDM の更なる推進

・ (財)地球環境戦略研究機関(IGES) 平石尹彦

NEDO クレジット取得事業の現状と課題

・ (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
大江一彦

2007 年度 CDM/JI 事業調査報告

- (1) 鹿島建設(株)
「ベトナム・都市ごみの 3R 促進・安定化処理事業調査」
 - (2) イー・アンド・イー ソリューションズ(株)
「中国・天津市経済技術開発区における省エネルギー推進プログラム CDM 事業調査」
 - (3) パシフィックコンサルタンツ(株)
「マレーシア・パームオイル工場コベネフィッツ CDM に関する調査」
 - (4) (社)海外産業植林センター
「ウルグアイ・粗放な放牧地における地域活性化を目指した新規植林 CDM 事業調査」
- (コメンテーター)
- ・ 平石尹彦((財)地球環境戦略研究機関)
 - ・ 大江一彦((独)新エネルギー・産業技術総合開発機構)
 - ・ 松尾直樹((有)クライメート・エキスパート)

大阪会場 プログラム

10月3日(金) 11:00~16:30 (10:30 受付開始)

CDM/JI の現状と課題

・ 環境省 市場メカニズム室長補佐 河村玲央

コベネフィット実現による CDM の更なる推進

・ (財)地球環境戦略研究機関(IGES) 平石尹彦

NEDO クレジット取得事業の現状と課題

・ (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
大江一彦

2007 年度 CDM/JI 事業調査報告

- (1) (株)エックス都市研究所
「フィリピン・ボホール島エミッションフリー・コミュニティー・プログラム CDM 調査」
 - (2) 三菱 UFJ 証券(株)
「フィリピン・マニラ首都圏における公共交通機関の燃料効率向上及び大気汚染緩和事業調査」
 - (3) (株)東芝
「ベトナム・タイニン省における澱粉加工工場メタンガス回収エネルギー供給事業」
 - (4) (株)三菱総合研究所
「フィリピン・再植林、アグロフォレストリー、バイオマス『トリプルベネフィット型』CDM 事業調査」
- (コメンテーター)
- ・ 平石尹彦((財)地球環境戦略研究機関)
 - ・ 大江一彦((独)新エネルギー・産業技術総合開発機構)
 - ・ 松尾直樹((有)クライメート・エキスパート)

■参加申込方法

参加希望会場、氏名、所属団体名、連絡先(電話番号、Eメールアドレスなど)をご記入の上、下記申込先まで(ホームページから、もしくはEメール、FAXにて)お申し込みください。尚、参加証・登録証は発行しませんので、あらかじめご了承ください。各会場とも、定員になり次第、受付を終了させていただきます。

申込・問合せ先: (財)地球環境センター「CDMシンポジウム」係 (申込締切:9月26日(金))

ホームページ: <http://gec.jp/jp> Eメール: cdm-fs@gec.jp FAX: 06-6915-0181

※申し込んだ際に収集した個人情報は、本シンポジウムに関する事務連絡及び翌年度の案内送付にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。

温暖化対策 CDM/JI 事業調査シンポジウム 2008 参加申込書(FAX 送信用)

FAX: 06-6915-0181

○ 参加希望会場: 東京 大阪

○ 氏名(ふりがな): _____ (_____)

○ 所属団体、部署: _____

○ 連絡先: _____

TEL FAX Eメール